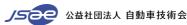
No.15-25 シンポジウム ●ハイブリッド●

カーボンニュートラルにむけた 燃料の進化とディーゼル機関の役割



時 2026年1月27日(火)10:00~17:00

現地会場)同志社大学東京オフィス

主 催:公益社団法人 自動車技術会 企 画:ディーゼル機関部門委員会

シンポジウム概要

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、燃料と内燃機関の両面で研究開発が進められています。ディーゼル機関は幅広い性状の燃料が利用可能であり、今後も社会を支えるパワートレインの1つとしての役割を持ち続けるものと考えられます。燃料開発、燃焼制御および解析、環境負荷評価の技術者が一堂に会し、最新技術や将来の見通しについての有益な議論を行えることを期待しております。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

つきましては、本シンポジウムをご支援いただける スポンサー企業を募集いたしますので、是非この機会に ご協賛賜りますようお願い申し上げます。

ディーゼル機関部門委員会 委員長



松村 恵理子 氏

主 催 ——

公益社団法人 自動車技術会

〔企画〕 ディーゼル機関部門委員会

協賛団体(予定)—

(公社)石油学会、(一社)日本エネルギー学会、

(一社)日本機械学会、

(公社)日本マリンエンジニアリング学会、

日本内燃機関連合会、 (一社)日本陸用内燃機関協会

●発 行 日:2026年1月27日(火)

● 申 込 締 切 日:2026 年 1 月 13 日(火)

● 原稿締切日:2026年1月19日(月)

企業ロゴデータをご提供ください。

スポンサー企業募集

本シンポジウムのスポンサーへ申し込みいただきますと、 スポンサー特典をご用意しております(裏面参照)。

スポンサー希望企業様は下記必要事項をご記入の上、
メールまたはFAXにてご送信ください。

メールまたはFAXにてご:	送信ください。
[貴社名]	
T	
[担当者名]	
[部署名/役職]	
TEL.	FAX.
E-mail	

「お問い合わせ先」 **専属広告代理店 株式会社大成社** 〒104-0041 東京都中央区新富1-15-3 新富ミハマビル6F TEL.03-5542-3366 FAX.03-5542-2077 E-mail: jsaead@taiseisha.co.jp

https://www.taiseisha.co.jp

10:00 開会の挨拶 同志社大学/ ディーゼル機関部門委員会委員長 松村恵理子 氏

司 会:松村恵理子氏(同志社大学/ディーゼル機関部門委員会委員長)

10:10カーボンニュートラル化に向けた液体燃料の取り組み ENEOS(株) 金子タカシ 氏

11:00 軽油の組成や蒸留性状が PM 生成に及ぼす影響 出光興產㈱ 香取広平氏

11:40【昼食休憩】

司 会:川原田光典氏((独)自動車技術総合機構 交通安全環境研究所)

13:00減圧沸騰噴霧を利用したエンジン燃焼制御手法 同志社大学 千田二郎 氏

13:50 カーボンニュートラル社会に向けたアンモニアエンジンの燃焼法開発 トヨタ自動車㈱ 坂井洋志 氏

FT 合成による液体燃料の軽質分の燃焼検討 14:30

(国研)産業技術総合研究所 葛岡浩平氏

15:10【休憩】

16:50

司 会:平岡賢二氏(ヤンマーホールディングス(株))

15:20自動車のライフサイクルアセスメント (一財)日本自動車研究所 鈴木徹也 氏

16:00将来の自動車用燃料 閉会の挨拶

京都大学 塩路昌宏 氏

同志社大学/ ディーゼル機関部門委員会委員長 松村恵理子 氏

◆プログラムは講師、会場の都合などにより予告なく変更となる場合があります。

スポンサー企業募集 110.000円(税込)

本シンポジウムはスポンサー企業を募集しております。

スポンサーへ申し込みいただきますと、スポンサー特典として以下をご用意しております。

スポンサー特典

- ① 本シンポジウムへの参加費 1 名様分(一般価格 33,000 円)が無料となります。
- ② 自動車技術会ホームページ内、本シンポジウム詳細紹介ページにて、スポンサー企業として貴社ロゴマークを掲載します。 ※リンク先はご指定いただけます。
- ③ 本シンポジウムの開始前スライド・休憩中スライド内に、貴社ロゴマークを掲載します。
- ④ 本シンポジウム会場でカタログ等の資料を配布します。



掲載例) 自動車技術会ホームページ内 シンポジウム詳細紹介ページ

開始前・休憩中スライド